

令和4年6月22日

資料提供
高野町



東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる学校訪問コンサートの開催について

この度、東京大学先端科学技術研究センター「先端アートデザイン分野」が中心となり開催される「高野山会議2022」の関連事業として、子どもたちと音楽のふれあいを目的とした学校訪問コンサートが下記の日程で開催されますので是非取材いただきますようお願いいたします。

<日 程> 令和4年6月30日(木) 10:45~11:45

<場 所> 高野山小学校体育館(伊都郡高野町高野山376)

<出演者> 東京フィルハーモニー交響楽団 8名

近藤薫(東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター/東京大学先端科学技術研究センター特任教授)、
小川恭子、藤村政芳、水鳥路、須田祥子、中村洋乃理、高麗正史、黒川実咲

<参加者> 管内小中学校、生徒児童 140名

※当日、取材・撮影を希望される場合は、6月27日(月)までに高野町企画公室にご連絡ください。

東京フィルハーモニー交響楽団について

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。Bunkamura オーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHK ニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK 紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。



【近藤薫 プロフィール】
東京フィルハーモニー交響楽団及び Future Orchestra Classic コンサートマスター、バンクーバー・メトロポリタン・オーケストラ首席客演コンサートマスター、リヴァラン弦楽四重奏団主宰、東京大学先端科学技術研究センター先端アートデザイン分野特任教授。

<お問い合わせ先>

高野町企画公室 田輪 TEL 0736(56)2932 FAX 0736(56)3022

東京大学先端科学技術研究センターについて

平成 29 年に発足 30 周年を迎えた先端科学技術研究センター（略称：先端研）は、「科学と技術とアートのハーモニーで人と社会をつなぎ、インクルーシブな社会を形にする」ことを使命としています。

最大の特徴は研究者や研究分野の多様性にあり、理工系の先端研究から社会科学やバリアフリーという未来の社会システムに関わる研究まで、基礎から応用に至る多様な研究を積極的に推進しています。

また、東大附置研で唯一博士後期課程を有し、イノベーションを生み出す力を持った人材育成に取り組むとともに、企業研究者の再教育も積極的に行っています。

先端アートデザイン分野について

令和 3 年 1 月にアートやデザイン領域と科学技術を融合させた新たな領域を研究する「先端アートデザイン分野」を設立。人本来の視座から感性を介して科学技術を見直し、持続的なインクルーシブ社会創造のための取組を行っています。

【研究者メンバー】神崎 亮平 教授（和歌山県出身）／伊藤 節 特任教授／近藤 薫 特任教授／伊藤 志信 特任准教授／吉本 英樹 特任准教授（和歌山県出身）【写真左から】



高野山会議について

「高野山会議」は先端アートデザイン分野が主催する重要なプロジェクトのひとつとして令和 3 年 11 月に第 1 回会議を開催し、今回が 2 回目の開催となります。

高野山は、弘法大師空海の教えが 1200 年にわたり持続的に受け継がれている特別な場所であり、その思想は、ただ 1 つの最適解を出すことに終始せず、あらゆるものに価値や意義を見つけて、それぞれの関係において宇宙が成り立つことを教えてくれます。その高野の地で、科学、芸術、デザイン、哲学、そして宗教など多様な分野に関わる人々が集い、対話し、人間性と倫理感ある未来、1200 年後の世界を考え発信します。

【参考】

東京大学先端科学技術研究センターは、平成 31 年 3 月 15 日に和歌山県と、令和 2 年 9 月 4 日に高野町、金剛峯寺、高野山大学と連携協定を締結し、産業振興や教育等幅広い領域で交流を進めています。